

会員の皆様におかれましては、日頃から会の運営へのご協力、そして、先日の書面審議における議案の承認を頂きまして、誠に有難うございました。

この度、紙面をお借りし、あらためて会長退任のご挨拶を申し上げます。

私事ですが、本年に入り体調のことで、約3か月余り、会長としての執務に就くことができず、会員の皆様、そして、役員の皆様にご迷惑をおかけしましたこと、お詫びを申し上げます。

また、不在期間中、松下副会長には職務を代行いただき、役員の皆様をはじめ各事業部会の皆様に、会の運営を支えていただきましたこと、この場をお借りし、お礼を申し上げます。

その後、活動への復帰を考えておりましたが、気持はありながらも、責任をもって執務にあたるのが難しいと判断し、松下副会長と橋口事務局長へ相談のうえ、役員会にて退任を承認いただきました。

CM連協には、介護保険前夜の平成11年から、約24年間運営に関わらせていただき、私の仕事人生のほとんどは、CM連協と共にありました。この間、多くの方との出会いと学びの機会を頂いたこと、会員の皆様と共に活動したことは、私の人生の大切な宝となりました。

また、CM連協がなければ、対人援助専門職としての自身を確立することも、成長もすることも難しかったのではないかと感じています。

今後は、これまでと同じ形ではありませんが、会員としてCM連協の発展に、微力ながら貢献できるよう努めてまいりたいと思います。また、自身の対人援助専門職としての学びは、終着駅はありませんので、奥川幸子先生のお言葉にもありましたように、「やめるその日まで学び続けることが必要な仕事」であることを肝に銘じ、歩み続けたいと思います。

最後に、これまでご協力をいただきました会員の皆様、活動を支援いただきました大牟田市及び関係機関の皆様、そして、いかなる時も共に考え、活動し、支援いただきました役員会と各事業部会の皆様に感謝を申し上げます。

当会が目指すところは、私たち対人援助専門職が、利用者に寄り添う伴走者で在り続けるよう熟成を目指して取り組み、そして、CM連協が会員の拠り所であり続けることだと思います。

橋口会長を筆頭に新体制のもと、当協議会が益々発展していきますことを願ひまして、退任のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

令和5年5月31日

林 洋一郎